

第七十五回
帝國議會
貴族院

國民體力管理法案特別委員會會議事速記録第七號

昭和十五年三月十三日(水曜日)午後二時
十八分開會

○委員長(子爵野村益三君) 開會致シマス

○男爵黑田長和君 我先日修正ノ動議ヲ提出致シマシタ處、山川男爵ノ御賛成ニ依ツテ成立シテ居リマス、以後熱心ナル御懇談ヲ重ネマシタ結果、私が勸議ヲ出シマシテ説明致シマシタ時ニ、對案トシテ假ニ「輔導」ト云フ字ヲ以テ「管理」ト云フ字ニ變ヘルト云フコトヲ申シマシタ、ソレカラ又ソレニ附加ヘマシテ、或ハ單ニ「管理」ト云フ字ヲ省イテ「國民體力法案」、單ニサウ云フ風ニ改メルト云フコトデアッテモ、私トシテハ反對デナイト云フ意味ノコトヲ申シテ置キマシタ、所が御懇談ノ模様ヲ見マス、ト「輔導」ト云フ字ハ餘リ適當デナイカラ、ソレハ採擇スルコトヲ止メテ、併シ管理ト云フ字ハ誠ニ不當デアルカラ、簡單ニ表題ヲ國民體力法案トスルト云フコトガ、皆様ノ御賛成ヲ得テ居ルヤウニ私ハ考ヘマスノデ、私ハ改メテ之ヲ主張致シマス、サウ致シマス、法案ノ中ニハ管理ト云フコトガ繰返シテ使ッテゴザイマスガ、此ノ管理ト云フ言葉ハ非常ニ不當ナ言葉デアリマス故ニ、是ハ如何ナル意味ヲ使ハレテアルカト云フコトヲ説明スル所ノ文句ヲ、此ノ法案ノ中ニ書キ込ムト云フコトガ必要ト存ジマス、ソレデ私ハ假ニ第一條ノ二項トシテ「前項ノ管理トハ國民體力ヲ檢査シ體力向上ノ指導其ノ他必要ナル處置ヲ爲スヲ謂フ」ト云フ文字ヲ挿入スルト云フコトヲ提

議致シマス、併シ是モ此ノ字句ニ付テハ私ハ一向固執スルノデハアリマセヌデ、モット宜イ言葉ガ發見サレマスナラバ、ソレニ贊成スルコトニ決シテ吝カナルモノデハゴザイマセヌ

○子爵實吉純郎君 我先日黒田男爵カラノ御修正ノ御趣旨ニ全然贊成致シマス、一體此ノ管理ト云フ字ガ不當デアルト云フコトハ、此ノ委員會ノ諸君皆サング十分御理解ノコトデアリマスガ、併シ之ヲ外シテ法案ノ表カラ取り去リ、而モ其ノ條文ノ中ニハ立派ニ存續サシテ置クト云フノハ矛盾デハナイカ、若シ中ニサウ云フ管理ト云フ字ガアルナラバ、表面ニ出シテモ一向差支ナイト云フ御考ノコトモ尤モト考ヘマスガ、コ、ガ一番必要ナコトデアリナイカト私ハ思フノデアリマス、一體管理ト云フコトガ世間一般ニ行ハレテ居リマスノハ、物ヲ自分ノ手ノ中ニ把握シテ、ソレヲ自分ノ意思通リニ統制シテ行クト云フ意味ニ解釋サレテ居ルノデアリマス、然ルニ今此ノ管理ト云フ字ヲ表ニ出シマス、政府ノ今迄此ノ管理ト云フ字ヲ茲ニ使ッテ意味ヲ御説明ニナツテ初メテ分ルノデアリマスカラ、管理ト云フ字ヲ表ニ出シテアル場合ニハ、一々政府ガ其ノ説明ヲナサナケレバナナイコトニナリマス、ソレハ法文ノ中ヲ讀メバハッキリ分リマシテモ、法文ヲ讀マナイ場合ニハ、一應ハ普通ニ使ハレテ居ル管理ト誤解サレテシマフノデアリマス、是ガ非常ニ影響ノ宜シクナイコトヲ憂ヘマス、一體物ヲ管理

スルト云フ觀念ハ、之ヲ人ニ使フト云フ場合ニハ、人ヲ物トシテ扱フト云フ觀念ガ自然出テ來ル、デ日本國民ヲ矢張り物ト一緒ニ扱フト云フ思想ハ甚ダ宜シクナイ、何トナク唯物的ノ思想ガ中ニ含レテ居ルヤウナ氣ガ致シマス、ソレハ政府ノ方デハ勿論サウ云フコトハ分ッテ居ルト云フ御言明ハ度度承ッテ居リマスシ、我々モソレデハナイト云フコトヲ承知シテ居リマス、殊ニ此ノ條文ヲ讀ミマス、其ノコトガハッキリ分ルノデアリマスガ、世間一般デハ管理法ト言ハレマス、トサウ云フ風ニハ直グニハ取ラナイノデアリマス、其ノ誤解ガ國民全體ニ互ル法案デアリマスカラ、皆ニサウ云フ風ナ誤解ガ最初ニ起ルト云フコトハ最モ宜シクナイヤウニ考ヘマス、ソレデ表面ニ管理ト云フ字ヲ現ハサズ、法文ヲ讀メバハッキリ分ルト云フ體裁ガ最モ宜インデヤナイカト思フノデアリマス、若シ此ノ中ノ文字ヲ適當ナ字ニ代ヘルト云フコトニ致シマス、可ナリ法文ニ澤山ニアリマスカラ、ソレヲ一々直シテ行カナケレバナナイシ、今ノ場合此ノ法案ガ殊ニ重要デアリ、今ノ狀態デハ我々ハ一刻モ早ク此ノ法案ノ成立ヲスルコトヲ望ンデ居リマス際デアリマスカラ、サウ云フコトヲシナイデ、此ノ管理ト云フ字ヲ條文ノ初メニ於テ政府ノ方デハハッキリ御示ニナルト云フコトニ致シマス、法文ニ使ッテアル限リ此ノ管理ト云フ字ノ解釋ガソレデ限定サレマスカラ、一向後デ誤解ヲ起スコトハナイ、若シ初メニ、法案ノ最初ニ

ソレガアッテソレカラ法文ノ中ノ管理ト云フ字ヲサウヤツテ解釋シテ行ケバ誤解ヲ起シマセヌガ、其ノ解釋ノナイ以前ニ、一番初メニ法案ノ名前ニ是ガ出テ來マス、ソコニハマダサウ云フ解釋ノナイ前管理ト云フ字ガ出テ來マシテ、甚ダ工合ガ惡カラウト思フ、サウ云フヤウナ關係デ今ノ黒田男爵ノ御話ニハ全然贊意ヲ表スル者デアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 色々意見ガ出マシタガ、御異議ガナケレバ採決致シマセウカ、御異議ゴザイセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ採決ヲ致シマス、黒田男爵ノ修正意見ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵野村益三君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ外ノ條文ニ付テ採決ヲ致シマス、併シ意見ノ御陳述ハゴザイマセヌカ

○子爵立花種忠君 贊成意見ヲ申シタイノデスガ、宜シウゴザイマスカ

○男爵黑田長和君 チョット其ノ前ニ……、只今ノ私が申シマシタ第一條ノ二項ニ斯ウ云フ言葉ヲ假ニ附加ヘルト云フコトヲ主張致シマシタガ、ソレハ委員長ニ御委セ致シマスカラ、尙一應御考慮ニナリマシテ、一層良キ字句ヲ御見付ケニナルヤウニ、ソレヲ御一任致シマス

○委員長(子爵野村益三君) 承知致シマシタ、立花子爵

○子爵立花種忠君 甚ダ僭越デゴザイマス
ルガ、一言述べサシテ戴キマス、本法案ハ
實ニ劃期的ノモノデアリマスルガ、此ノ重
大時局下ニ於テハ誠ニ缺クベカラザル大切
ナ法案デアリマシテ、寧ロ其ノ提出ノ遅キ
ヲ我々ハ憾ム位デアルノデアリマス、誠ニ
結構ナモノト存ジマシテ私ハ之ニ賛成ラス
ルノデアリマス、併シナガラ茲ニ數項ノ希
望ヲ政府ニ申述べテ置キタイト存ジマス、
第一、政府ハ最初此ノ法案ヲ十年計畫ヲ以
テ進マレルト云フヤウナ御考デアッタヤウ
デアリマスガ、此ノ委員會ニ於テノ御答辯
ニ依リマスルト、心ズシモ十年計畫ニ捉ハ
レルト云フコトハナク、未成年者全部ニ對
シテ成ルベク速カニ此ノ法律ヲ適用スルト
云フヤウナ御言明ヲ得マシテ、稍、満足ヲ致
シタノデアリマス、無論今後ノ國家財政ノ
都合モアリマセウガ、其ノ御言明ノ反古ニ
ナラナイヤウニ特ニ御努力ヲ願フテ置キタ
イト存ジマス、第二ハ、市町村ノ負擔過重
ノ虞ガアル點デアリマスルガ、政府ハ先日、
豫算モ十分ニ取ツデアルシスルカラ心配ハ
要ラナイト云フ如キ御説明ガアリマシタ
ガ、此ノ點ニ付キマシテハ尙深甚ノ御注意
ヲ御願フ致シテ置キタイト存ジマス、第三
點、保護者及ビ之ニ準ズル者ニ義務ヲ負ハ
シムルコトニ付キマシテハ、理由ハ先日色
色申シマシタカラ申シマセウガ、何卒綿密
周到ニ之ヲ御指導爲サレマシテ、苟モ罰則
ニ觸レルガ如キコトノナイヤウニ細心ノ御
注意ヲ拂ハレタイコトヲ望ンデ置キマス、
第四、此ノ際勅令ヲ以テ定メタ所ノ學校等
ニ行フ所ノ體格検査ト云フモノヲ一層嚴密
ニ爲サイマシテ、將來國家ノ指導ノ地位ニ
就クベキ所ノ此ノ學生々徒ノ體力指導、向

上ト云フコトニ付キマシテ、全力ヲ御傾注
アラムコトヲ希望致シマス、第五、體力手
帳ノ記載ノ方法及其ノ取扱、是ハ頗ル、私
ノミデハナイト思ヒマスガ、御心配ニナツテ
イラッシャル方ガアルト思ヒマスカラ此ノ
點、ソレカラ管理醫ノ選定、指揮及監督、
コ、ラニ付キマシテモ萬全ノ御注意ヲ拂ハ
レムコトヲ望ミマス、其ノ他滿洲等外地ニ
進出シテ居ル所ノ移民及在住シテ居ル所ノ
日本民族ニ付テモ、成ルベク速カニ此ノ法
案ト同一手段ヲ執ル考デアルト云フ御答ガ
アリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテモ成ル
ベク速カニ御實施ニナルヤウニ御考慮ヲ煩
ハシテ置キマス、尙序ニ申述べタイト存ジ
マスガ……之ヲ要スルニ、先日厚生大臣カ
ラ、此ノ法律施行ニ當ツテハ此ノ法律施行
ニ關係ノアリマスルソレノ向キ……ニ
對シテ十分立法ノ趣旨、ソレノ取扱方ニ付
テ過チノナイヤウニ指導シテ行キマスコト
ガ大切ダト思ツテ居リマス、ト云フ御答辯ニ
ナツテ居リマスガ、何卒與々モ十分ノ御注意
ヲ御願フ致シタイト存ズルノデアリマス、以
上數項ノ希望ヲ述べマシテ、本法案ニ賛成
ヲ致シマス……只今ノ私が述べマシタ賛成
意見ノ中、後段ノ「尙序ニ申述べマスガ」ト
云フ後カラ「之ヲ要スルニ」ノ前迄、其處迄
ハ此ノ際速記カラ削除シテ戴キタイト存ジ
マス
○委員長(子爵野村益三君) 御異議ガナケ
レバ、サウ云フ風ニ取計ラヒマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(子爵野村益三君) 本修正意見ニ
付テ、當局大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ存ジマ
ス
○國務大臣(吉田茂君) 政府ノ原案ニ用ヒ

デアリマスル國民體力管理法ト云フコトノ
「管理」ト云フ文字ノ意味ニ付キマシテ、種々
御審議ヲ煩ハシ、御心配ヲ掛ケマシテ、只
今御修正ノ御意見ガ出テ居ル譯デゴザイマ
ス、政府ト致シマシテハ度々御説明ヲ申上
ゲマシタ如ク、此ノ管理ト云フ文字ヲ唯物
的ナ思想ノ基礎ノ上ニ用ヒタ譯デハゴザイ
マセヌノデスガ、是ハ皆様方ノ御配意モア
ルコトデゴザイマスシ、右ノ修正意見ガ貴
族院、衆議院ヲ通過スルコトニナリマスレ
バ、政府ハ院議尊重ノ意味ニ於キマシテ取
計ラヒタイ、斯様ニ考ヘマス、尙只今立花
子爵カラ、本法施行ノ上ニ於テノ重要ナル
御注意ノ事項六項目ニ互リマシテ御陳述ガ
ゴザイマシタ、是等ハ一々御尤モト存ジマ
ス、中ニ厚生省ノ主管デナイ事項モ第四項
等ニハゴザイマスガ、是亦誠ニ御趣意ニ於
テハ御尤モト思ヒマス、厚生省ノ主管ニ屬
シマスルコトハ厚生省ノ主管トシテ十分ニ
御趣意ヲ實現致シマスルヤウニ、又事、他
省ニ關係致シマスル部分ハ、其ノ方面ト十
分ナ連絡ヲ保チマシテ、御希望ノ趣意ニ副
ヒマスルヤウニ取計ラヒタイト存ジマス
○委員長(子爵野村益三君) 他ノ部分ニ付
テハ、御異議ガナイト認メテ宜シウゴザイ
マス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ修正
可決セラレマシタ、他ニ御發言ハゴザイ
マセヌカ……御發言ガナケレバ、是デ散會
致シマス
午後二時四十二分散會
出席者左ノ如シ
委員長 子爵野村 益三君
副委員長 男爵小池 正晃君

委員	
公爵島津 忠承君	子爵立花 種忠君
伯爵中御門經恭君	子爵實吉 純郎君
伯爵山本 清君	光行 次郎君
男爵黑田 長和君	男爵山川 建君
男爵藤沼 庄平君	金杉英五郎君
平沼 亮三君	齋藤万壽雄君
岩田 三史君	
國務大臣	
厚生大臣 吉田 茂君	
政府委員	
文部政務次官 子爵舟橋 清賢君	厚生省體力局長 佐々木芳遠君
厚生書記官 曾我 梶松君	